

令和6年度 片倉三枚地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評

―総括表―

◆ 事業計画

□ 地域の現状

【神大寺】

人口 15,216人(2023/3現在)

〔14歳以下 1,338人 65歳以上 3,624人 75歳以上 1,973人 高齢化率 23.8%〕

戸建てと集合住宅が広がる、山坂が多い住宅地である。9つの自治会・町内会からなる連合で、毎月27日に防災/パトロールが開始され防災対策の強化に向けて動いている。また高齢化率は3地区内で一番高く、このコロナ禍で足腰の筋力低下がみられる高齢者が少なくない状況である。地域(地区社協)ではフレイル予防として「健康フェス」を開催したりと健康を意識した取り組みを行っている。つくし会(昼食会)では、今までの食事会から配食に切り替え、配布場を2拠点設置し、高齢者が自分の足で参加するような出向きの場としての取り組みを設けている。一昨年より地域福祉保健計画を進めるコアメンバーチームが発足し、「あいさつ」運動を実施しており、エリアのいたるところに旗が掲げられ地域福祉に対する意識が向上してきている。

【片倉】

人口 15,847人(2023/3現在)

〔14歳以下 1,718人 65歳以上 3,121人 75歳以上 1,766人 高齢化率 19.6%〕

ブルーラインの駅を中心に南北に伸びた農地や自然公園もある住宅地である。戸建てが多いが、集合住宅も多く散在している。地域福祉保健計画に関しては、地区推進会議開催後に地域住民への周知の為「支え愛プラン通信」を発行しているなど福祉活動への理解がある地域である。また、区内連合地区21地区中民生委員の欠員がないのも特徴のひとつであり、地区全体で見守り活動を強化している。地域イベントには多くの住民が参加し、顔見知りの関係構築のしやすい環境であり、消防署や小学校も地域イベントに参画して繋がりをもっている。また、生活困窮者支援の取り組みとして「かたくらフードパントリー」を年に3回程度実施されている。

【三枚】

人口 5,799人(2023/3現在)

〔14歳以下 817人 65歳以上 1,007人 75歳以上 472人 高齢化率 17.3%〕

農地や樹林地など、緑豊かな環境の地と住宅地となる地域であり、上町エリアと下町エリアに分かれている。2町会は住民同士の繋がりに力を入れた取り組みが多く、グランドゴルフ、ボーリング、健康麻雀など、自治会やシニアクラブを中心にした活動が活発に行われている。それぞれに会館があり、地域住民の活動の場が整備されている。また新駅開業の頃より住宅地が増えるとともに子供の数も増えてきている。2町会それぞれに子供会があり、年少人口の増加に伴い子供会の活動も増えている。子どもを通じての繋がりが強く、地域住民が行う子ども支援に力を入れている。高齢化率も神奈川区平均より低くここ数年維持している。また交通環境では、商業施設までの交通が不便であることから、地域に民間企業の移動販売が行われ、買い物困難者への支援が実施されている。

□ 今後の方向性

《今後の方向性》

地域の生活の質の向上のためネットワーク構築の強化に向け取り組んでいく。

地域と双方向の情報交換を心がけながら地域課題に取り組んでいく。

□ 今年度の重点的な取組

新規
継続

―具体的な取組内容―

□	■	1ー2 地域アセスメント 地域資源マップを地域住民や支援者に広く周知し、誰もが気軽に地域資源や情報が把握しやすい状態にする。また、新たな情報や変更を入手した場合は定期的な更新をする。	
■	□	1ー6 地域ケアプラザの場を活かした支援 貸館利用団体説明会と交流会を実施し、地域ケアプラザの貸館利用における「福祉・保健」の意義を伝え、団体どうしの交流を図り、活動を活性化させたり、貸館利用者の減少に歯止めをかける。	
■	□	2ー2 権利擁護業務 支援者を対象に、判断能力が低下した方の支援として「意思決定支援」の講座を年1回開催する。	
□	■	2ー4 在宅医療・介護連携推進事業 地域住民向けにACPに関する普及・啓発講座を年1回行う。	
■	□	2ー5 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業(介護予防ケアマネジメント) ケアプラザや地域で開催されているサークルやサロンなどのインフォーマルサービスが個別に合わせ積極的に支援計画書に取り入れることができ介護保険サービス利用だけではなく地域資源が活用できる。また生活支援コーディネーターや地域活動交流コーディネーターと連携し社会資源の情報収集や共有を図り地域資源の情報をケアマネジャーに周知していく。	

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

【各項目の振り返り】

【1-2】

4月に1000部印刷し、ケアプラザロビーに配架やケアプラザで開催される自主事業(住民向け・福祉事業者向け)などでお配りし更に11月時点で500部増刷をし事業や配架などを通じて配ることが出来き、幅広い方々の手元に届いた。

【1-6】

貸館団体説明会交流会を実施し、団体相互に活動紹介や地域福祉活動としての貸館団体という意義をご理解いただき、貸館団体の活動の活性化を達成できた。

【2-2】

7月25日、ケアマネジャー向けに「ケアマネジメントに活かそう意思決定支援」を社会福祉士の講師をお呼びし講座を開催した。17名の参加がありケアマネジメント業務に活かせるなどといった声が聞かれた。来年度も権利擁護に関する講座の開催を行う。

【2-4】

11月27日(水)に市民公開講座を開催。ケアプラザ協力医と、スピリチュアルケアの講師を招き、医療と仏教、それぞれの視点より人生の最終段階を考える講座を開催した。講座の資料と一緒に、「もしも手帳」を配布し説明を行った。

【2-5】

片倉三枚地域ケアプラザ地域資源マップを発行した。当地域包括支援センターで開催するケアマネジャー向けの研修会等を活用し積極的に地域資源マップの配布を行い地域のインフォーマルサービスの情報提供を行った。

【全体を通して】

地域の相談・支援、地域アセスメント、住民主体の地域づくり、社会資源の開拓、ネットワーク構築、地域ケアプラザの活用、職員体制・育成、区行政との協働など、多岐にわたる取り組みを行ってきた。

地域のニーズに応じた講座やイベントを開催し、地域資源マップの配布を通じて情報提供を行った。また、認知症支援や権利擁護業務においても、地域住民の理解を深めるための講座を実施し、地域の見守り体制を強化してきた。さらに、ケアマネジャーや地域住民とのネットワークを構築し、情報共有を促進することで、地域課題の解決に向けた取り組みも進めてきた。

今後も、地域の特性を踏まえた支援を継続し、住民の声を反映した地域づくりを推進してしていきたい。

□ 区からのコメント

今年度は、ケアプラザの機能や強みを発揮しながら、多岐にわたる取組・事業を実施していただきました。

相談支援では、ケアプラザ広報誌等を効果的に活用しながら、地域ケアプラザの活動、役割・機能を周知していただきました。また、SNSを活用し、活動記事を定期的に投稿し、区役所投稿や地域の方に関連する情報へのリツイートをするなど、地道な取組がフォロワー数や閲覧数の増加につながっています。今後も、様々な方法で、幅広い地域住民に対して、ケアプラザを知ってもらおう啓発をお願いします。

地域アセスメントでは、複数の専門職がいるというケアプラザの強みを生かし、それぞれの立場で地域の情報収集と情報共有をされています。さらに、収集した地区データを、地区分析、地域ケア会議の資料、民生委員向け勉強会等に活用しており、データをうまく事業に活かしています。引き続き、データに基づいた地域アセスメントをお願いします。

ネットワークの構築・支援では、移動販売の拠点が、エリア内に5か所あります。買い物支援は、買い物以外にも緩やかな見守り、社会参加、運動などの多くの効果があります。ある拠点では、買い物支援をきっかけに集会所でのサロンや体操等の地域交流にもつながっています。また、困りごとへの相談にもつながったとの話もあり、地域住民の方にとっては欠かせない場になっていると思います。今後もニーズ把握に努めていただき、取組が継続できるように、伴走支援をお願いします。

権利擁護では、関連する個別支援の件数も増えている中、丁寧な対応をしていただいています。「意思決定支援」については、支援者が、かなり意識ができていないと見過ごされがちです。繰り返し研修を受けることで、具体的なイメージを持った支援につながります。引き続き、講座を開催し、支援者のスキルアップにつながればと思います。

在宅医療・介護連携推進事業において、ACP普及啓発は多くの方にご参加いただき、講座を受けるにとどまらず、その後のもしも手帳の記載のきっかけになったと思います。次年度は支援者向けの講座を計画しているとのことですが、支援者の方を通して、多くの住民の方がACPを知り・考えて・関係者と話し合うきっかけとなるよう期待しています。

指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業では、5職種連携がとれているため、地域ケアプラザならではのインフォーマルサービス・地区情報をととても豊富に持っており、日々ケアマネジャーの方にお伝えいただいている様子がうかがえました。また、地域資源マップを作成いただき、区役所でも住民の方に地区資源について、お伝えしやすかったです。

今年度は、地域福祉保健計画の策定を進める年でしたが、その場面においても、地域の皆様と一緒に取組んでいく姿勢が前面に出ており、多くの方に伝わったのではないかと思います。

今後も、地域の身近な相談機関として、地域の特性を踏まえて、地域支援をお願いいたします。

令和6年度片倉三枚地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	■予防支援計画の委託に関しては、ご利用者の希望に沿って行い、特定の事業者には偏らないようにする。 ■あらゆる対立する関係からの中立・公正の立場を保つよう心掛け、偏って支援することが無いように、職員研修等を通じて継続的に学んでいく。	■リスクマネジメント活動を通じて、事故対策を行い、可能な限り、ルール化していく活動を行う。 ■個人情報を取り扱う場合はより慎重に行い、保管場所の施錠、送付する場合にはダブルチェック体制を確実に行う。
実績	重要事項説明書等で、特定の事業者へ偏った紹介をしないことを明記し、職員もご利用者の事業者選定に関して恣意的な誘導はせず、ご利用者が複数から選択できよう支援している。	■事故発生時には、迅速に対応し事故が起きた原因・是正等を振り返り、職員会議で周知し再発防止に努めた。 ■個人情報は鍵付き書庫・専用保管室に保管をし、施錠。送付時はダブルチェックにて確認した。全職員対象で個人情報についての研修を年1回実施した。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	■利用者本人自らが計画作成に参画して利用者本人が納得した計画を作成することが出来る。 ■生活支援コーディネーター及び地域活動交流コーディネーターと情報共有や協力体制が出来ている。	■関連機関と連携し、包括的継続的ケアマネジメントが実践できるようになる。 ■住み慣れた地域で本人が望む生活が実現できるよう、個々のACPを実践できるようになる
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	看護師1名、主任介護支援専門員1名、社会福祉士2名、 介護支援専門員1名 計5名	管理者(兼務)1名 常勤1名 非常勤2名 計4名
契約者数	2024年度3月末 要支者援契数(265件)	

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の出来ることを維持しつつ、 したいことに挑戦できるように、自立した生活を送るための能力を維持できるよう生活支援を行う。	自分らしさの表現ができる所を提供し、社会参加の機会を維持しながら地域生活の継続を援助する。	実施していません
実施体制	【実施日数】 週6日(月～土) 介護予防・第1号は週5日(月～金) 【提供時間】 9:30～16:30 介護予防・第1号は9:30～13:30 【定員】	【実施日数】 週6日(月～土) 【提供時間】 9:30～16:30 【定員】 12名	
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 実費分 昼食代810円/個別活動費 実費	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】 実費分 昼食代810円/個別活動費 実費	
職員体制	管理者1名/生活相談員1名 介護職員10名/看護師3名 送迎運転手6名	管理者1名/生活相談員1名 介護職員10名/看護師3名 送迎運転手6名	
契約者数等	【延べ利用者数】 5,683名 【契約者数】 64名	【延べ利用者数】 28名 【契約者数】 3名	

令和6年度「片倉三枚地域ケアプラザ(施設名)」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,611,357	556,287	20,167,644	18,721,928	1,445,716	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000	40,500	59,500	
雑入	0	0	0	71,486	△ 71,486	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	61,338	△ 61,338	
その他		施設利用料相当額控除、GND事業、利用料金収支を計上	0	10,148	△ 10,148	
その他	3,298,285		3,298,285		3,298,285	
収入合計	23,009,642	556,287	23,565,929	18,833,914	4,732,015	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,350,000	0	11,350,000	8,786,374	2,563,626	法人本部経費含まず
本俸	7,500,000		7,500,000	7,870,835	△ 370,835	
社会保険料	1,200,000		1,200,000	800,694	399,306	
手当計	2,500,000		2,500,000		2,500,000	
健康診断費	50,000		50,000	33,473	16,527	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他	100,000		100,000	81,372	18,628	
事務費	1,913,642	0	1,913,642	1,080,143	833,499	法人本部経費含まず
旅費	50,000		50,000	13,456	36,544	
消耗品費	500,000		500,000	172,869	327,131	
会議滞在費	50,000		50,000	22,740	27,260	
印刷製本費	250,000		250,000	149,351	100,649	
通信費	300,000		300,000	168,577	131,423	
使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	21,120	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120	21,120	0	
その他			0		0	
備品購入費	100,000		100,000	107,336	△ 7,336	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	50,000		50,000	484	49,516	
振込手数料	1,000		1,000		1,000	
リース料	100,000		100,000	75,792	24,208	
手数料	40,000		40,000	37,224	2,776	
地域協力費			0		0	
その他	451,522		451,522	311,194	140,328	
事業費	342,000	0	342,000	102,327	239,673	法人本部経費含まず
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	300,000		300,000	102,327	197,673	
その他			0		0	
太陽光パネル保守点検	0	380,732	380,732	380,732	0	
太陽光パネル保守点検		380,732	380,732	380,732	0	
太陽光パネル修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）			0		0	
管理費	7,930,000	0	7,930,000	8,004,926	△ 74,926	法人本部経費含まず
光熱水費	5,000,000		5,000,000	4,937,000	63,000	
清掃費	1,500,000		1,500,000	1,592,919	△ 92,919	
機械警備費	300,000		300,000	280,305	19,695	
設備保全費	830,000	0	830,000	834,101	△ 4,101	
空調衛生費	350,000		350,000	385,906	△ 35,906	
消防設備費	50,000		50,000	39,416	10,584	
電気設備保守	50,000		50,000	40,878	9,122	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	23,359	6,641	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	350,000		350,000	344,542	5,458	
共益費			0		0	
その他	300,000		300,000	360,601	△ 60,601	
修繕費	474,000	287,370	761,370	161,201	600,169	予算：指定額
公租公課	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	法人本部経費含まず
事業所税			0		0	
消費税	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他		268,917	268,917		268,917	法人本部経費含まず
支出合計	23,009,642	937,019	23,946,661	18,515,703	5,430,958	
差引	0	△ 380,732	△ 380,732	318,211	△ 698,943	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	40,500	59,500	
自主事業費 支出	300,000	0	300,000	102,327	197,673	
自主事業 収支	△ 200,000	0	△ 200,000	△ 61,827	△ 138,173	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	61,338	△ 61,338	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	21,120	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,120	0	△ 21,120	40,218	△ 61,338	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度「片倉三枚地域ケアプラザ(施設名)」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,924,232		30,924,232	29,762,916	1,161,316	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0	0	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,945,951		5,945,951	5,945,951	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	20,000		20,000	135,700	△ 115,700	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	50000		2,772,500		2,772,500	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	2,772,500		2,772,500		2,772,500	
収入合計	39,866,683	0	39,866,683	35,998,567	3,868,116	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	34,650,000	0	34,650,000	29,993,255	4,656,745	本部経費含まず
本俸	18,000,000		18,000,000	25,520,325	△ 7,520,325	
社会保険料	6,000,000		6,000,000	3,945,195	2,054,805	
手当計	10,000,000		10,000,000		10,000,000	
健康診断費	50,000		50,000	13,772	36,228	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他	600,000		600,000	513,963	86,037	
事務費	1,519,683	0	1,519,683	2,571,238	△ 1,051,555	法人本部経費含まず
旅費	100,000		100,000	108,486	△ 8,486	
消耗品費	400,000		400,000	165,442	234,558	
会議陣い費			0	0	0	
印刷製本費	200,000		200,000	149,351	50,649	
通信費	250,000		250,000	131,907	118,093	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	200,000		200,000	359,744	△ 159,744	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費	30,000		30,000	8,090	21,910	
振込手数料	1,000		1,000	220	780	
リース料	30,000		30,000	18,372	11,628	
手数料	50,000		50,000	1,263,042	△ 1,213,042	
地域協力費			0		0	
その他	258,683		258,683	366,584	△ 107,901	
事業費	1,081,000	0	1,081,000	1,099,755	△ 18,755	法人本部経費含まず
協力医	630,000		630,000	483,000	147,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	317,766	△ 217,766	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000		151,000	146,981	4,019	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	200,000		200,000	152,008	47,992	
その他			0	0	0	
管理費	2,490,000	0	2,490,000	2,127,918	362,082	法人本部経費含まず
光熱水費	1,500,000		1,500,000	1,312,367	187,633	
清掃費	400,000		400,000	423,464	△ 23,464	
機械整備費	100,000		100,000	74,511	25,489	
設備保全費	290,000	0	290,000	221,721	68,279	
空調衛生設備保守	120,000		120,000	102,582	17,418	
消防設備保守	20,000		20,000	10,478	9,522	
電気設備保守	10,000		10,000	10,866	△ 866	
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000	6,209	13,791	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	120,000		120,000	91,586	28,414	
共益費			0	0	0	
その他	200,000		200,000	95,855	104,145	
修繕費	126,000		126,000	42,849	83,151	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費含まず
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	法人本部経費含まず
支出合計	39,866,683	0	39,866,683	35,835,015	4,031,668	
差引	0	0	0	163,552	△ 163,552	

自主事業費 収入	70,000	0	70,000	135,700	△ 65,700	
自主事業費 支出	451,000	0	451,000	616,755	△ 165,755	
自主事業 収支	△ 381,000	0	△ 381,000	△ 481,055	100,055	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

令和6年4月1日～ 令和7年3月31日

(単位:千円)

施設名:片倉三枚地域ケアプラザ

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	160,000	53,753	106,247			0	25,000	20,016	4,984	74,000	57,722	16,278	3,200	2,617	583
	その他	0	0	0	0	0	0	0	4	0	100	285	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
収入合計(A)		160,000	53,753	106,247	0	0	0	25,000	20,020	4,980	74,100	58,007	16,093	3,200	2,617	583
支出	人件費	4,000	4,000	0			0	18,000	14,572	3,428	50,000	52,241	-2,241			0
	事務費			0			0	2,500	379	2,121	14,000	9,854	4,146			0
	事業費			0			0	200	2,500	-2,300	9,300	20,697	-11,397			0
	管理費			0			0	800	1,174	-374	5,300	4,060	1,240			0
	その他	10,000	11,502	-1,502	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	10,000	11,502	-1,502			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
支出合計(B)		14,000	15,502	-1,502	0	0	0	21,500	18,625	2,875	78,600	86,852	-8,252	0	0	0
収支 (A)－(B)		146,000	38,251	107,749	0	0	0	3,500	1,395	2,105	-4,500	-28,845	24,345	3,200	2,617	583

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業					■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業				1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）			2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）						7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	健康ひろば (介護予防講座)	R2	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	高齢者を対象に介護予防に関する知識の普及・啓発を図り高齢者が自ら日常生活で取り組みを実践する方法を周知する。	1: 高齢者	5: 地域	年3回程度開催予定	3	41
2	親子お楽しみ交流会	R6	5: 共催（１と３）	1: 優先的に取り組み	親子で楽しめる企画を実施することにより、若い世代(幼少期～その親世代)にも地域ケアプラザを知って頂く。また、親子たちが交流を持てる場を設ける事で地域の顔見知りの関係をつくる。	3: 養育者及び乳幼児	5: 地域	年3回程度開催予定 場所: 多目的ホール ・地域の親子が交流を持てる場の提供	2	120
3	貸館利用団体交流会	R6	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域ケアプラザの貸館利用における「福祉・保健」の意義を伝える。また、他団体同士の交流を図り、サークル参加者の減少に歯止めをかける。	5: 地域		10月 場所: 多目的ホール ・貸館利用団体同士の活動の共有	1	28
4	民生委員とケアマネジャーとの交流会	R4	4: 共催（１と２）	1: 優先的に取り組み	民生委員とケアマネジャーの活動で浮かび上がった地域課題を共有しながら情報共有ができる。	5: 地域		年1回 場所: 多目的ホール ・地域活動における情報交換	1	29
5	ティールームもくせい	H15	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	パンやクッキーの販売を通して、地域の方が気軽に地域作業所に従事する障がい者の方と交流する場を設ける。	5: 地域		毎月第4火曜 12:45-14:45 場所: 多目的ホール ・地域作業所「もくせい」のパンやクッキー、手作り雑貨の販売 ・喫茶コーナーの設営	12	258
6	いろばた茶屋かたくら店	令和4年度	6: 共催（2と3）	2: 発展させるねらい	認知症本人やそのご家族の居場所づくり。 担い手(認知症サポーター養成講座受講者)とケアプラザ職員と協働で行う。 今年度7月目標に住民主体の自主化を目指す。	1: 高齢者	5: 地域	毎月第1木曜日 10:30～12:00 場所: 片倉台住宅第一集会所 事業後は、担い手と共に振り返り会を実施	2	29
7	グリーンピア片倉交流会	平成28年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	市営住宅は、高齢期の転入が多く、地域や住居内での孤立・孤独が課題となっている。住民同士の交流の場づくりをし、身近なテーマで話し合う場を設け、近隣同士での助け合いを構築する。	1: 高齢者		毎月第3月曜日 10:30～12:00 場所: グリーンピア片倉相談室	12	101
8	ヒルズ神大寺おもしろ会	平成28年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	市営住宅は、高齢期の転入が多く、地域や住居内での孤立・孤独が課題となっている。集いの場では、防災に興味のある住民が多く、2019年に独自の「防災の心得」の冊子を作成している。今年度は、冊子をブラッシュアップする。	1: 高齢者		毎月第4木曜日 14:00～15:00 場所: ヒルズ神大寺相談室	11	58
19	～おとこめしの会～日本ハム栄養講座	令和6年度	5: 共催（1と3）	1: 優先的に取り組み	定年後、孤食が多くなりがちな男性シニア向け栄養講座	1: 高齢者	1	2024年7月5日(金)13:30～15:00	1	7
10	介護者のつどい	H29	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護している方の身近な場所での開催を継続して行うことで、今年度も参加がしやすいとの声が聞かれた。地域に向く形での介護者のつどいを開催する。 介護についての情報を得るための企画も検討する。	5: 地域		介護者のつどいの参加している人達の傾聴役として認知症キャラバンメイト等に参加協力を依頼する。介護についての情報を得るための企画も検討する。年に3回の開催を行う。	3	8
11	いろばた茶屋	H30	7: 共催（１と２と３）	1: 優先的に取り組み	認知症カフェとして認知症高齢者だけでなく、どなたでも参加の出来る居場所づくりとしているいろばた茶屋を開催	5: 地域		毎月第2土曜日 13:00～14:00	7	92
12	ケアマネジャー向け「意思決定支援」研修	R6	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	判断能力低下により意思確認が難しく、困難化したケースの相談が支援者より多くある。判断能力が低下した方の意思決定について研修を支援者向けに行う	6: 事業者		支援者を対象に、判断能力が低下した方の支援として「意思決定支援」の講座を年1回開催する。(7月開催)	1	17
13	司法書士無料相談会	H23	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民が気軽に法律の専門家による相談を受けることができる。 相談者が抱える問題の解決につなげられる。	5: 地域	6: 事業者	司法書士による1組30分の無料相談を6月開催予定 主催: 神奈川区包括支援センター連絡会 神奈川区社会福祉協議会	1	11
14	行政書士無料相談会	H23	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民が気軽に法律の専門家による相談を受けることができる。 相談者が抱える問題の解決につなげられる。	5: 地域	6: 事業者	行政書士による1組30分の無料相談を10月開催予定 主催: 神奈川区包括支援センター連絡会 神奈川区社会福祉協議会	1	2

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児	
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることを ねらった事業	4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者	
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）			7：その他			

No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施 回数	延べ 参加 人数
15	市民公開講座	R3	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ACPを地域に普及啓発する役割を担っており、地域住民向けに講演会を開催している。今後も継続的にACPについて普及・啓発を継続していく必要があると考える。	5:地域		11月に地域ケアプラザ協力医の協力医得て市民向け講座を行う。前年度講評であったACPを医療と宗教の両面から考えるをテーマで行う。	1	31
16	春の外出企画～巣鴨・亀戸ぶらり散歩～	令和6年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	外出することに抵抗感が増している高齢者に大使、楽しい事業をきっかけに外出の機会を促す エリア内高齢者同士の仲間づくり	1:高齢者	1	2024年4月24日(水)9:00～16:00 バスハイク 行先:巣鴨地蔵・亀戸天神	1	17
17	民生交流会	R6	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	個別課題や地域課題解決に向けた情報共有を行える場として、民生委員・高齢者を見守る支援組織など・地域包括支援センター間で情報共有の出来る交流会を開催する。	5:地域		5月開催予定	1	15
18	事例検討会	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	困難なケースを抱える居宅介護支援事業所より事例検討会の開催の意向があつたため 当地域包括支援センターが開催の呼びかけを行った。 支援者も含め多職種で事例検討会開催することにより広い視点で事例の解決に向けた支援方法を検討するため。	6:事業者		参加者は事例提供者である担当ケアマネジャーと事業所ケアマネジャー 介護保険サービス事業所 ケアプラザ協力医/主治医 オブザーバー ばあとな神奈川 神奈川区役所高齢障害担当 片倉三枚地域ケアプラザ所長・生活支援CO・地域包括支援センター3職種にて事例検討会を行う。	2	24
19	令和6年度第1回多職種ネットワーク連携会議”医療の視点から自然災害の医療体制について～	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	自然災害時など「いざという時」に支援者間が連携を図ることができるよう関係機関同士に顔の見える関係づくりをはじめていくため。	6:事業者		『自然災害時(地震・水害等)における医療体制について各専門職からの情報提供を行う。 【詳細内容】 ケアプラザ居力医福澤医師より自然災害時の横浜市/神奈川区の医療体制について 済生会神奈川県病院 地域医療連携室相談員による自然災害時における済生会神奈川県病人の役割について アルファ薬局 野村薬剤師より横浜市/神奈川区の医療体制について ケアプラザより	1	42
20	令和6年度介護予防ケアマネジメントスキルアップ7研修 高齢者の栄養管理の視点～アセスメントに生かす知識を学ぼう～	令和6年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	栄養の視点から高齢者が自立した日常生活を送ることができるために知識を学ぶことができたケアマネジメントにおいて知識を生かし高齢者の栄養管理に視点を含めてケアプランが立案できる。	6:事業者		8月30日(金)15:00～17:00 管理栄養士:市川結生氏 ①栄養に視点からみる高齢者の身体の特徴 ②支援者が踏まえておくべき高齢者に必要な栄養知識・支援 ③アセスメントすべき点(ワークを通して考える) 薬剤師:野田朋宏氏 ①薬の副作用が招く低栄養について ②ポリファーマシーによる低栄養のリスク(コープ片倉店より) コープ片倉店による買い物送迎サービスの説明(質疑/応答も含む)	1	10
21	3ポイントミーティング	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザエリア内の3地区の地区社協会長及び地区社協役員と地域の福祉・保健の課題を見つけ、その解決の支援。	5:地域	5	2024年度5月16日(木) 10:30～ 2025年3月26日(水) 15:30～	2	8
22	出張介護予防教室	令和6年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	エリア内の団地の集会所で高齢者向け運動指導の講座を行う。ケアプラザまで出向けない高齢者もいるので自治会から開催して欲しいとの要望があった。	1:高齢者	5	10月2日(水)10:00～11:00 山王森ハイツ集会所にて開催する。 講師に近隣のデイサービス健康運動指導士を講師に招き講座を行う。	1	10
23	グッチさんの紙芝居	令和6年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	外出不安や人と交流を望む地域住民向けに、ケアプラザで事業を行うことで外出の機会を促す。また、幅広い世代への呼びかけをし、多世代が顔の見える関係性になることを目指す。	5:地域	1.2.3.4.5	2024年6月22日(土) 13:30～15:00 紙芝居実演	1	30
24	認知症普及啓発ロバマスク作り	令和6年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	特技を活かした新たなボランティア活動 認知症サポーター養成講座などで、参加者にお渡ししている認知症キャラバンのマスコット作りを通じた仲間づくり	5:地域	5	8月2日(金)より実施、開催日はボランティアの予定に合わせ実施	6	20
25	手作り味噌講習会	令和6年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	・食の楽しさを実感していただき、高齢期の栄養に興味を持ち健康を意識してもらう。 ・味噌づくりを通じて、参加者同士の交流を図る。	1:高齢者	1	12月18日(水)10:30～13:30 小泉麹屋による手作り味噌講習 参加者と昼食交流会	1	14

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることを ねらった事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）				7：その他		

No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施 回数	延べ 参加 人数
26	室内健康づくり(片倉地区保健活動推進員後方支援)	令和6年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	片倉地区とその周辺にお住まいの方を対象とした健康講座。参加者同士の交流と健康～継続を図る	5:地域	1.5	2024年7月17日(水)9:30～12:00	1	28
27	サマーコンサート～カクテルタイムさんによる、木管五重奏～	令和6年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	楽しい催しでケアプラザに足を運んでいただくきっかけをつくり、地域ケアプラザの機能を知っていただく。 参加者同士の顔見知りの関係構築。	5:地域	1.5	2024年7月27日(土)10:30～12:00	1	27
28	第7回ロバメイトフェスティバル	平成30年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	・「認知症にやさしい地域づくり」のために、広く地域に向けて認知症の啓発を行う。 ・今年度新たに実行委員会が発足、運営委員主体のロバメイトフェスティバル開催を目指す。	5:地域	5	実行委員会の話し合いに参加し運営委員会が主体となり活動できるよう支援を行う。 9月7日実施 「おれんじろぼ」(キャラバンメイト)サポーター養成講座、押花絵本展示会、セルフオレンジカフェ、映画上映会(ケアニン2)	1	100
29	ケアブラ歌声純喫茶	令和6年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	・アンケート実施の際、音楽で楽しむ講座を年に数回行い、ケアプラザに足を運ぶ機会を作ってほしいとの声が多数あり実施。 ・音楽を通じ、顔見知りを増やす。	1:高齢者	1	12月10日(火)10:30～11:30 喫茶店風の会場設営をし、音楽療法士による昭和歌謡演奏。 曲の合間に回想法を入れる。	1	24
30	秋空思い出遠足～小田原さんぽ～	令和6年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	高齢期の外出不安や閉じこもりなどを防止し、遠足を企画し楽しみを創出する。 近隣地区同士が繋がり、新たな仲間づくり	1:高齢者	1	11月28日(木)9:00～17:00 JRを使い小田原駅へ、老舗店で買物後、小田原ガイド協会による小田原城散策	1	4
31	おとなの社会科見学～日産横浜工場見学～	令和6年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	・高齢期の外出不安や閉じこもりなどの防止。 ・男性でも参加しやすい企画をし、男性参加者を募る。	1:高齢者	1	11月22日(金)13:00～16:00 日産横浜工場見学	1	6
32	今すぐ始める生前整理～遺品整理人からのアドバイス～	令和6年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	年齢を重ねて自分らしく住み慣れた地域で過ごすための、高齢期の生前整理勉強会	1:高齢者	1, 5	11月2日(土)13:30～15:00 生前整理人による「心の整理」「物の整理」の講話 新ライフデザインノートの配布	1	17
33	おとなの社会科見学 キリンビール横浜工場	令和6年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	楽しみながら参加できる外出の機会や地域住民同士が繋がる機会を提供する。	1:高齢者	1	10月24日(木)9:00～12:00 キリンビール横浜工場見学	1	4
34	おとなの社会科見学 味の素工場見学	令和6年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	高齢期の外出不安や閉じこもりなどを防止し、高齢期の楽しみを創出する。	1:高齢者	1	10月10日(木)9:15～11:15 味の素工場見学	1	8
35	配食サービスボランティア「さくら会」活動支援	令和6年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させる ねらい	配食サービスボランティア「さくら会」配達ドライバーを募る活動	1:高齢者	1	10月～11月にかけて配達ドライバーチラシ配布 配達するお弁当に付け、参加者にドライバー募集を周知する。	2	60
36	百々寿会音楽サロン後方支援	令和6年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	片倉町自治会百々寿会(シニアクラブ)活動の活性化と継続支援	1:高齢者		歌声サロン 2月14日(金)13:30～15:00 ケアプラザ多目的ホール	1	21
37	冬のおでかけ企画令和7年長楽萬年～成田山新勝寺散策～	令和6年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	安心して外出することに抵抗が生じている高齢者に対して、ケアプラザの楽しい事業をきっかけに外出に機会を創出する	1:高齢者		成田山新勝寺散策 1月29日(水)9:00～16:00	1	18
38	新春企画 民謡コンサート	令和6年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	楽しい企画でケアプラザに足を運んでいただき、高齢者の相談窓口である「地域包括支援センター」を知っていただく。	1:高齢者		民謡コンサートと包括支援センター職員による講話 1月14日(火)10:30～12:00	1	26
39	六角橋中学校3年生向け認知症サポーター養成講座	令和5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	3年生向け特別授業として福祉教育の実施。 エリア内住民キャラバンメイトが講師となり、中学生に対し、認知症の症状や対応を知っていただく機会をつくる。エリア内の若い世代の認知症サポーターを増やす。	4:子ども・青少年	5.7	2025年2月25日(火)12:25～14:10 六角橋中学校3年生各教室 認知症サポーター養成講座実施	1	291

[illegible]